広報やまこし

発行所
新潟県古志郡
山古志村役場
電話 竹沢局
17 23 78

印刷所
大川印刷所

9月の村の人口
＝47年9月末日現在＝

世帯数	1,011	
人口	4,323	男 2,162人 / 女 2,161人
9月の住民移動	出生3人（男2・女1）	死亡10人（男5・女5）
	転入4人（男3・女1）	転出10人（男4・女6）

主な記事

○統合中学校　グラウンド工事はじまる
○出かせぎ前に家族会議を
○道路の整備工事すすむ
○火災予防運動はじまる
○にぎわった家畜共進会
○山古志テレビ局開局

統合中学校 グラウンド工事はじまる

自衛隊員再度のご協力

山古志中学校の校舎および体育館は昨年完成し、ことしは寄宿舎と教員住宅ができ上がりましたが、グラウンド造成工事は、このたび陸上自衛隊第五施設群に協力をおねがいして、去る十月十日隊員三十四名を迎えました。

これによって十三日、隊員とともに関係者の出席により現地において起工式を行ない、工事の安全を祈願して作業に着手しました。

工事は、グラウンド用地約一万二千五百七十平方米（約三千八百坪）を造成するもので、切土量五万四千七百立方米、盛土量四万九千八百五十立方米、残土四千八百五十立方米と、多量の土量を処理することになります。

工事の期間は、天候、災害等の都合により変更されることもありますが、十一月末日までを予定しています。

隊員のみなさんは、大型ブルドーザー六台をフル運転し、規律ある作業と団結力で、みるみるうちに山は削られ、見違えるほど工事はすゝんでいます。

営舎は前回と同じ竹沢保育所を当てられていますが、宿舎設備が不充分なところで頑張っているみなさんに対し、十月二十日（土）、新潟地方連絡部主催によって作業部隊激励懇談会を開催し、高田第五施設群や関係者および地域内代表者などのご出席があり、心をこめて接待いたしました。

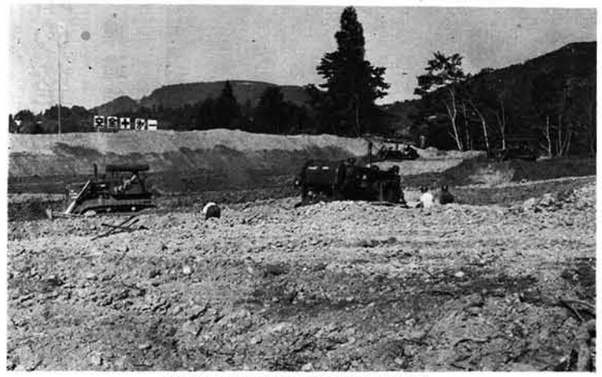
この日、大久保部落有志十七名からの好意により、昔から伝統あるかぐら芸能の披露があり盛んな拍手をあびました。

隊員からは隠し芸などの余興があり、その技を競うとともに村長をはじめ区長さんなど共催者側からも、のど自慢が続出して賑かに隊員と融け合って、なごやかの中に感謝の気持で半日をすごし、今後のご活躍をおねがいしました。

この工事が完成すると、グラウンドは二百米のトラックと百米直線六コースが充分とられるようになります。また来年度に計画されているプールの用地と、県道からの通学道路約三百米（市員六米）を計画できるようになります。

昨年から建設がすゝめられているこの中学校は、校舎、体育館、寄宿舎およびグラウンド用地をあわせて面積は約二万千平方米（六千二百五十坪）となり、施設の内容も近代的に設備され、この近郷にない立派な学校となります。

教育はすべての基礎であるといわれ、次の世代をになう若者たちがこの施設を充分に生かし、学習と実践の場として、将来の夢が大きく育つことを期待します。


みるみるうちに山は削られてゆく

しめやかに行なわれる地鎮祭

勢ぞろいした大型ブル

出かせぎ前に家族会議を

出かせぎの出発前に冬の生活、来春の農作業の段どりなどくらしについて家族みんなで話し合い、留守中に困らないようにしましょう。

出かせぎ家庭はこんなことが起きがちです。

○ 主人が留守で子供の就職、進学が定まらない。

○ 役場などの届出、手続きがわからないで困った など、また三月は所得税の申告の時期です。

これはほんの一例ですまません。こんなことがなく安心して働けるよう、留守をあづかる家族が困らないよう、出稼ぎ前に家族会議を開いて、よく話しあいをしましょう。

献血者に謝礼を

献血のことについては毎年みなさんのご協力をいただき感謝しています。

医学の進歩、交通事故の激増などにより日増に献血の需要が増しています。

村では、毎年ゆうあい号の巡回により、みなさんの健康な血液の提供をお願いしてまいりました。

人間の血液は、人間の血液でなければおぎなうことができません。ひとつの生命が愛の献血で救われます。

村では本年二回の巡回により百九人の血液提供者があり、山古志村の目標数をほぼ達成することができました。

これらの献血者に感謝とお礼の気持を表わす意味で次のかたにタオルを贈呈することになりました。

虫亀
田中城博・五十嵐クミ子
長谷川実・佐藤　幸一
松田　広志・田中　博
長島　新一・長島　欣一
長島　真作・若原　敦
佐藤佐枝子・佐藤　文平
峠村　功・松田　信子
長島　優子・長島イウ子
竹沢
関　広・星野光夫(二回)
高野　勝治・関　ヨシノ
青木　ハツ・星野　信
青木　輝一・関　洋一
小池　広二・小川　春雄
星野　武雄・小川　加久
小池　キミ・小池　正夫
星野　敏雄・小川　稔
星野　興・関　誠一
小川アツ子・小川　勝行
佐藤　誠志・星野　哲
小池　三男・高橋　武俊
渡辺　一治・小川　敏郎
高野　ハツ・星野　正平
星野健太郎・星野　丑松
星野　定夫・星野　幸雄
関　悌二・星野三代治
関　ミサオ
東竹沢
畔上　義郎・松井　清明
増田　博・五十嵐喜代
五十嵐茂男・川上　元一
川上　弘子・五十嵐　務
小川喜太郎・関　礼子
小川　清一・五十嵐喜一
三ケ地区
青木　文博・青木　幸七
畔上金四郎・畔上守二
五十嵐市太郎・畔上　孝三
斎藤　忠吉・川上
種苧原
桂沢　正利・坂牧　春吉
桂沢三治郎・小川善一郎
桂沢　勝義・影山　義治
影山　勝義・影山　明
坂牧　吉信・佐藤　米岡
影山　憲明・桂沢　紀夫
長谷川　実・坂牧　源作
坂牧義吉・小川　三司
桂沢　源作・小川　三夫
坂牧　悟・小川　和栄
湯本　清治・佐藤　義一
小川　信義
小川理三郎・金内　一夫
湯本　忠男・坂牧徳三郎
坂牧　正建・小沢亀治郎
草間　頼雄・米岡　祐三

愛の献血者に謝礼を

▼小出病院からのお知らせ
▼年賀はがきの発売
▼取りもどしができます
▼交換できます

お知らせ

一、眼科診療日の変更
いままで、週三日の診療で、ご不便をおかけしていましたが、十一月一日から左記のとおり変更されます

記
診療日　毎週土曜を除く毎日。
（註）毎週土曜日は休診、診療時間は他科同様、午前十時半まで受付け、原則として午前中だけとなります。

耳鼻咽喉科の休診
医師が医学会出席のため、十一月十五日（水）から十一月十八日（土）まで休診となります。
（住民課）

▼勤労者住宅資金
資付限度額を百万に
最近、住宅の新築、増改築が目立っていますが、この資金の調達は自己資金のみでなく、一時借入金などで心配される方もあると思われます。
住宅資金の貸付制度は住宅金融公庫資金をはじめ、農協や銀行および保険会社などの資金がありますが、勤労者のためのこの貸付制度はつぎのとおりですから希望者はご利用ください。
・貸付対象者
自分で住むための住宅を新築、増改築、購入しようとする勤労者
・貸付条件
①貸付金額
三十万円以上百万円までの十万円きざみの額
②利率
八％
③償還方法
十年以内の元金均等月賦償還
④申込期間
十二月十五日まで
⑤申込取扱金融機関
第四銀行、北越銀行、新潟相互銀行、大光相互銀行の本、支店
⑥その他
住宅金融公庫融資の併資の取扱金融機関にお問い合わせてください。

▼年賀はがきの発売
寒気がやってくると間もなく年末が近づいてきます。郵政省では、恒例のお年玉つき年賀はがきを十一月六日に売り出します。全国では十五億四千万枚発売しますが、このうち五億枚には、一枚一円の寄附金がつけられ、この寄附金は、日本赤十字社や社会福祉事業団などに配分されます。
お年玉つき賞品は次のとおりです。
一等＝折りたたみ式自転車又は、電子式卓上計算機
二等＝電子ジャー
三等＝関芸セット
四等＝封筒セットとグリーティングカード
五等＝お年玉切手シート

▼取りもどしができます
差出したあとの郵便物
いったん差出した郵便物を手もとに取りもどしたい場合は、すぐ差出したポストの取集めをしている郵便局の窓口へ申し出てください。
郵便物がよその郵便局へ発送される前でしたら手数料四十円で取りもどすことができます。
また、よその局へ発送された後ですと、普通郵便、遠達郵便で、電報のどれかにおくれの気持を表わす意味で次のかたにタオルを贈呈することになりました。
また、郵便物を入れたポストのそばで取集めに来るのを待っている方がありますが、取集めの途中では、お返しできないことになっています。

▼交換できます
書き損じたはがきなどはがき類を書き損じたり、汚したりした場合は、すべてしまわないで交換しましょう。
交換手数料（一枚につき）
△通常はがき、往復はがきの往信部または返信部……二円
△小包はがき、往復はがきミニレター（郵便書簡）……四円
△郵便はがき（外国郵便用）……五円
△ニュグラム（航空書簡）……十円
なお古い料金額（七円はがきなど）のものも交換手数料と現行料金の差額を納めれば交換できます。
交換の条件
未使用のもので次の条件にあうよう交換できます。
1 料額印面以外のところを書き損じたものの
2 印刷を誤まったもの
3 汚染したもの
4 一部きき損じたもの
（郵便局）

▼交通事故死ゼロへの要請
最近、異常なまでに交通事故による死者数が激増しております。このため取締面を更に強化して事故防止をはかりますから、事故死ゼロへの願いをこめて次のことを強くお願いします。
・人も車も必ず安全を確かめて通行してください。
・運転者は必ず安全速度を守ってください。
・酒よい運転は、一切やめてください。

初心者マーク
十月一日から道路交通法の一部を改正する法律により、運転免許証をとってから一年未満の方は初心者とし、運転する車の前後に初心者マークをつけなければならなくなりました。
この標識をつける義務に違反した者は故意過失を問わず、一万円以下の罰金または科料に処せられることになっています。
ベテランは、マーク付きの車には注意していたわる気持で運転しましょう。

道路の整備工事すすむ

県道舗装 三千三百九十米

ことし実施予定であった県道の改良や舗装、地すべり対策や砂防工事などの公共土木事業は、関係者のご協力とご努力によって、計画通り着々と工事がすゝめられています。

舗装は、虫亀～桂谷、種苧原地内をはじめ八ケ所で約三千三百九十米を実施して間内平～桂谷～虫亀間は全線舗装となりました。

県道の改良は、梶金地内など三ケ所、梶金橋、寺野地内のスノーセットなど降雪前に急ピッチで進められ、地すべり、砂防工事も実施中または工事の準備をすゝめられています。

交通網の整備は地域内振興の基本です。

これらの事業が円滑にできるよう、みなさんのご協力をおねがいします。

梶金地内の県道改良工事

急ピッチにすすむ舗装工事

慣れた火に新たな注意

火災予防運動 26日から

秋も深まり火の恋しい季節となるに従って火災のシーズンになりますので、十一月二十六日から十二月二日までの一週間は全国火災予防運動が行われます。

これからは暖房器具をはじめ、火の利用範囲も広くなってまります。

チョットしたい注意から大事になりかねません。

尊い生命や財産を失ない、みなさんに迷惑をかけないよう、つぎのことについて心がけましょう。

○たばこの投げ捨て寝たばこの防止
灰皿のないところまたは歩きたばこは吸わない。
とくに酔って吸い寝たばこは、絶対やめること。

○火気使用ケ所の安全点検
ガス、かまど、コンロ、風呂場のたき口、およびストーブ等のまわりはきれいに片付け、引火しやすいものは近ずけないなど防火体制をととのえる。

○暖房器具の正しい使い方
いままで保管していた暖房器具は使用前に再点検を忘れずに、ガス、石油類の取り扱いは慎重に。

○消火の備え
自分のところから絶対に出さないといいきることはできません。出火してもいきなり燃えあがることはなく、大事になるまでには案外時間はかゝります。この時期に消せばボヤで終ります。
消火の備えには消火器を準備しておき、誰でもわかりやすいところにおくことが大切です。

にぎわった家畜共進会

山古志村は二位入賞

第十九回の長岡地方家畜共進会は、さる十月十三日長岡家畜市場で開かれました。

家畜の改良増殖および肉質の改善をはかり、あわせて農業経営合理化をめざして、長岡市をはじめ小千谷、栃尾市および三島、古志郡の地域内の市町村、農協の共催により開かれたもので、出品は乳用牛四十六頭、肥育牛三十四頭、種豚十五頭、肉豚八十七頭で、山古志村からは肥育牛九頭の参加があります。

この日は天候に恵まれて、出品牛の運搬、審査など順調に進み審査の結果、肥育牛授賞七点のうち、二位に青木秀敏さん、三位に小川武重さんの二点が入賞しました。

審査終了後、取り引きもあり、村の出品牛は人気があり最高五百四十五キロ三十二万円余をはじめ出品牛全部が予想以上の価格で売却されました。

畜産は錦鯉とならぶ村の主要産業であり、豊富な自給飼料と新しい技術をとり入れて振興するようお互に協力しましょう。

老人医療費は無料に

来年一月から実施

七十才以上の老人で、国民健康保険や社会保険などの扶養者は、昭和四十八年一月から医療費が支給されて無料となります。

支給内容とその方法は、医療に要する費用のうちから一部負担金に相当する額を受診者負担とするために、窓口で一部負担金（自己負担）を支払わずに、いわゆる現物給付の方法により実施するよう検討されています。

ただし所得税が課せられる程度の所得がある場合や配偶者、扶養義務者の収入が一定額（扶養親族五人の場合で二百五十万円）以上の場合には対象から除外されます。

おとしよりは、特に早めに受診して、からだをいたわり、健康で長寿されるようおねがいします。

山古志テレビ局UHF

11月9日開局

テレビの難視地域をなくすため、県に建設を進められていた、貴岸地内のNHKの山古志テレビ局が近く完成し、信越電波監理局の検査を受け、十一月九日に開局する運びとなりました。

ご承知のとおり、この放送はUHF電波を使って放送する、いわゆるUHFテレビ放送局です。

UHF放送の特徴は、雑音につよい、受信アンテナは小型で軽い、障害物による減衰が大きいなど、VHFと異って、鮮明で美しい画面が楽しめます。

UHF電波を受信する方法は、

○従来のアンテナとは別に32と30チャンネルが受信できるUHFアンテナが必要です。オールチャンネル受像機（VHFもUHFも受信できる受像機）では、このアンテナと受像機をフィーダーでつなげばOKですがVHF専用機（一から十二チャンネルまでの受像機）では、UHFの電波をVHFに変えるコンバーターが必要です。

○受信アンテナの立て方は見通しがよい位置を選びVHFアンテナからはなして、高さを変えながら最もよく受信できるところに設置してください。

○ケーブルは、新潟市にある。

これから冬を迎え、雪のなかの生活には特にテレビは、欠くことができません。今までつゝきりしなかった画面も、このテレビ局開設によって美しい映像に変り、教養に、娯楽に役立つものと思われます。

なお、難視聴の東竹沢などの地域について今後引きつゞき改善するよう検討されています。

NHK総合　32チャンネル
NHK教育　30チャンネル

山古志よもやま

二十村の盆おどり

陸物 草一郎 (34)

その二番目の唄、新潟の白山様のことだ。今ではどちらでもいいことだが、新潟市には白山神社が二ケ所ある。一ケ所は、新潟市一番通町に、今一ケ所は沼垂（へぬったり）にある。祭神はともに菊理媛命（くくりひめのみこと）という神様で、争えいごとや婚姻のことなどを、仲裁したり、おとりもちをする神様として、信仰を厚くしていた。

しかし、新潟市にあるが昔は領主が違っていたものなので、一番掘通町の白山神社は、もと船江神社と称し古新潟にあったものを現在地に移したものだという。

○小包は、新発田に関係のない数え唄も入っていることから深く考えなくてもよさそうである。

昨年の十月、私は新発田市を訪れて見た。まづ、新発田市中央町にある市立図書館に行き、それらしき文献をあさって見たが、何も得るところがなかった。

そこで、図書館の高橋礼弥さんに協力を願った。ところ、高橋さんは土地の郷土史家と称する方々に、山古志郷と新発田町の関係や盆唄や踊の事について、お問合せ下さったが、これまた判然たる解答を得ることが出来なかった。

そのとき、古い新発田歌句を紹介されたので一、三ここにあげて見た。

新発田五万石荒そうと　ままよ、新潟逃いが　やめらりょか。

おらが踊れば同心衆が　叱る。同心衆若いとき　おどらぬか。

紺の前だれ松葉を散し、　まつにこんとは　気が知れぬ。

であって、山古志につながる文句はなかった。そして高橋さんは、新発田もやはりの民謡踊に移行していると語られた。（つづく）